

7月21日に設計者の会20周年の講演に立った山本さん。山本さんの父親は、映画『ラーゲリより愛を込めて』のモデル、主人公の山本幡男さんです。大変人気のある俳優が出演して話題となりました。ラーゲリ(強制収容所)でもやさしく強く生きて父から学んだことなどについて語った、その一部を紹介します。(文責・見出し共に編集部)

# 「ラーゲリより愛を込めて」

本部設計者の会20周年記念講演 心を開いて、世の中を変えよう 建築家・山本厚生

## 過酷なシベリアの地で

### 人間らしさを貫いた父の生き方

「ラーゲリより愛を込めて」という映画が去年の暮れにできました。これは私の父、山本幡男の物語です。二宮和也さんをはじめ人気のある素敵な役者が一生懸命演じてくれ、若い人たちが感動したと言ってくれました。映画の企画書を見ると「今のような時代だからこそ、山本幡男の生き方を観てほしい」と書いてありました。

半の戦争だらけのあの時代に、先進国が世界の文化を破壊した。植民地の奪い合いまでして。遅れた国はタヌク国だから、先進国に従えといつてね。ひどい話です。これは一番、文化に反する。文化という言葉を辞書で引くと、その地域、その場所の人々の歴史の中で大事に育て上げられた精神的にも物質的にも優れたもの、大事なものを、これを

### 死の直前に遺書4通 暗記し伝えてくれた仲間

ういう中で、いつ帰れるかわからない中で父は「生きていけば、こんなひどい状態を世界が許すはずがない。必ず生きて帰ろう」と、そうやってみんなを励ましたので。なぜか。みんな自暴自棄になってね、自殺したり、喧嘩したり、閉じこもったりする中で、父はいつも明るく、そして正義を通した。だからそのために父もずっと日本に帰れなくて、最後は癌になりました。

なぜ日本民族はそういう歴史的使命を負うのか。洋の東西を問わず、それを融合するというのは日本人が得意なのではないか。それをなぜ時の支配者の側につこうとするのか。そうじゃないはずだという考えが父の中にはあった。どんな民族、歴史があろうとそこで大事にされたことを世界中が認め合おうという人道主義。その人道主義に基づいて世界の文化を融合する、これが日本人の大事な特質。だから、その再建に重要な役割を果たすはずだということ。「この歴史的使命を忘れてはならぬ」と書いたのです。

「政府の行為によって再び戦争の惨禍の起ることを決意し」という文言が入った。「政府の行為によって」というのが重要です。あの終戦直後は、世界中がそう思いました。支配者の方は何をされるかわからず、支配者は暴走する。世界中の平和の願いが日本国憲法にしっかりと反映されました。憲法ができた時、私の母は

踊って喜んでいました。映画では北川景子さんが演じてくれましたが、北川さんにも踊ってもらいたかったですね。日本が無条件降伏したポツダム宣言は戦勝国から日本に押し付けられたものとされていきますが、国民を騙して戦争に駆り立てた日本の軍国主義をなくそうというのがその宣言の目的です。スターリンも署名したこの宣言には、兵隊は武装解除したら平和な家庭に返す、と書いてあるのです。しかし、日本人被害者は終戦直後の支配者になんだかんだ言って騙されてしまった。ソ

踊って喜んでいました。映画では北川景子さんが演じてくれましたが、北川さんにも踊ってもらいたかったですね。日本が無条件降伏したポツダム宣言は戦勝国から日本に押し付けられたものとされていきますが、国民を騙して戦争に駆り立てた日本の軍国主義をなくそうというのがその宣言の目的です。スターリンも署名したこの宣言には、兵隊は武装解除したら平和な家庭に返す、と書いてあるのです。しかし、日本人被害者は終戦直後の支配者になんだかんだ言って騙されてしまった。ソ

敗戦からの復興、高度経済成長、パブル経済、新自由主義。そして、今は「戦争する国」です。彼らにとっては戦争の武器というのはいくらも儲かるのです。高額な武器で、お金をかけて作ったものをパインと壊しちゃおうのですから、我々の税金を一気に取っていくようなものです。そういう戦争をする国にならなかつたら、この経済、これ以上儲からないと。冗談じゃありません。企業が儲けのために作った製品を押しつけ、生物の絶滅危機や資源の枯渇が進み、人間の心身にまで異常をきたしています。支配者が暴走するこういう時代をもう変えなくてははいけません。



山本厚生さん／建築家、新建築家技術者集団全国代表幹事、元東京建築カレッジ講師、映画『ラーゲリより愛を込めて』の主人公・山本幡男さんの次男。東京藝術大学・建築科卒業

シベリア抑留 第二次世界大戦後、武装解除され投降した日本兵と民間人がソ連によってシベリアなど各地の強制収容所に抑留され、過酷な強制労働に従事させられた。30数万人が死亡したといわれる。

ポツダム宣言 第二次世界大戦において、日本の無条件降伏を要求し戦争終結の条件を提示したアメリカ、イギリス、中華民国の連名による宣言。1945年7月に発せられ、ソ連は後から加わり追認した。

### 自分の行動、共感で 身近な所から世界変える

人々が様々な歪みを見抜いて、住民のために、住民として行動することが大事です。主体性を自覚し、心を開いて共感し合って世の中を変えていく。それは本当の意味で身近なところから私たちが行動するということです。建築の

設計でも何でも、働く人は日常的には生活者です。生活者は子育てをする、いろいろな問題を抱えながら地域で暮らしています。地域が抱えている色々な問題にも取り組まなければならない。そして、その中で感じることを国民、市民、住民

映画 「ラーゲリより愛を込めて」

零下40度の国の日には必ず来ると、分け隔てなくみんなを励ます労働、心を閉ざす抑留仲間。タモイ帰れながらも、希望を捨てずシベリアで不当に抑留された山本幡男役の二宮和也、その妻・モジミ役を北川景子が演じる。原作は1989年出版のノンフィクション「収容所(ラーゲリ)から来た遺書(辺見じゅん、文藝春秋)。観賞はブルーレイ&DVD、U-NEXTなどで。脇を固める俳優陣も豪華。中島健人の好演が光る。

ビエトに60万の兵士が連れていかれたのに、アメリカも日本もそれに対して指摘しなかった、やめると言わなかったじゃないですか。国連の平和主義も、日本国憲法も、ポツダム宣言も、支配者はみんな裏切りました。裏切り続けて今日にいたっています。